

Faculty of  
**Law**

Niigata  
University

Faculty Guide 2025

新潟大学

法学部

学部案内  
2025



# 視野を広げ、能力を高め、 可能性を広げるために

新潟大学法学部は、社会動向の変化により生ずる新たな課題を発見し解決するために、従来の知識と発想を分野横断的に組み合わせ、公平・公正の観点から望ましい解決策を考えることができる人材を育成します。

新潟大学法学部で、自分の可能性を発見し、才能を開花させ、よりよい社会の実現に貢献しようと思志す学生生活を送ってみませんか。

# 人生を拓く学び

新潟大学法学部長

上村 都

UEMURA, Miyako



三重県生まれ。専攻は憲法学。  
岩手大学を経て、2009年に新潟大学に赴任。  
2023年4月より法学部長。

友達と夏休みに旅行に行くときも。海に行きたい人、山に行きたい人、西がいい人、東がいい人など、意見が一致しません。あなたならどうやって行き先を決めますか？ジャンケン、くじ引きもありますが、わたしたちの社会では、重要なことは多数決で決めるのが普通です。法律は議員の多数決で議決されますし、判決も、裁判官の多数決で決まります。

では、多数決とはどのような方法でしょう。多数決は、「半数プラス1人」とは限りません。例えば、憲法改正の発議は、衆参それぞれで総議員の3分の2の賛成が必要です。そのほかにも、憲法には「3分の2以上の多数」と書かれた条文がいくつかあります。なぜでしょう。

裁判も、単純な過半数によるとは限りません。日本では裁判官の過半数（最高裁大法廷なら15人中の8人以上の裁判官、小法廷なら5人中の3人以上の裁判官）で裁判が決まりますが、ドイツの連邦憲法裁判所は、そもそも裁判官の数が偶数の8人です（4人对4人なら合憲、5人以上が違憲の場合にのみ違憲）。韓国の憲法裁判所の裁判官は

9人ですが、法律を違憲にするには6人以上の裁判官が賛成しなくてはなりません（5人が違憲、4人が合憲なら合憲）。なぜでしょう。

なぜ...と疑問に思うこと。それが大学での学びの第一歩です。そして、政治や裁判においては、対立する主張の両方にそれなりの論拠があり、真実があります。法を学ぶということは、対立する主張に耳を傾け、それぞれの論拠を比較し、考量することにほかなりません。なぜ憲法や法律ではそのようなルールになっているのか、なぜ原告はそのような主張をするのか、これらのなぜ？により、奥深い社会科学の世界の扉が開かれます。新潟大学法学部には、疑問を発見し、考え、議論するためのさまざまな資料、教員、ゼミやクラスの仲間がそろっています。さまざまなことに関心を持ち、論理的でバランスの取れた判断能力を身につけてください。

なお、多数決ですが、ユダヤには「全員一致は無効」という考え方があるとされます。なぜ無効なのでしょう？考えてみてください。



## 2つのプログラム

新潟大学法学部では、学生の皆さんの進路選択に役立ててもらうため、2つのプログラムを用意しています。

### 法学プログラム

このプログラムは、法律に関心があるという人や、行政の背景にある様々な考え方に詳しい公務員になりたい人、情報のやりとりや契約のルールなどについてまとまった知識をもって民間企業に就職したいという人のための課程です。この課程と従来の教育課程とはほぼ同等のものといえ、新潟大学法学部は、これまで、官公庁や民間企業等に多数の人材を輩出してきました。また、卒業生には、様々な大学院へと進学し、さらに学びを深める人もいます。

## 3つの学修ステップ

学生一人ひとりの着実かつ効果的な学修を推し進めるため、新潟大学法学部は、大学の4年間を、3段階の教育ステップに分けてカリキュラムを設計しています。各年度は、学生の学修効果を高めるために4つのタームに分かれています(クォーター制)。このカリキュラムによって、効率的に4年間の学修を進め、卒業後の進路選択に必要な能力を身につけることができます。



### 大学教育開始 (1年次第1ターム～)

#### 効果的な学習技法の習得・専門的学修のための基礎学力の涵養

高校までの学びから大学への学びへと転換するために、導入教育科目として、

①大学で学ぶ、②人文社会科学を学ぶ、③法学部で学ぶ、の3層に必要な基礎的能力の涵養を行います。

具体的な開講科目

スタディ・スキルズ

人文社会科学入門

リーガル・システム

## 法曹養成プログラム(法曹コース)

→ 詳細は5ページへ

このプログラムは、「法曹(裁判官・検察官・弁護士)になりたい」という明確な目的意識を持つ学生のための課程です。この課程では、「法曹」との関連が深い科目を集中的に学修することができます。また、この課程では、1年次から法学の専門的な学修を開始することができ、成績優秀な学生には、5年一貫型選抜制度を利用して、新潟大学法学部が連携協定を結んでいる慶應義塾大学大学院法務研究科、中央大学大学院法務研究科、東北大学大学院法学研究科、神戸大学大学院法学研究科に進学する途が開けています。

STEP



### 市民社会のルール学修

(1年次第2ターム～3年次)

法学の基礎知識の習得と議論に基づく基礎知識の定着・  
多彩な専門科目による興味関心の深化と展開

法学の基礎的知識を習得し、法学的思考の定着を図ります。具体的には、憲法・民法・刑法の3科目を基幹科目として位置づけ、知識をインプットする「基幹講義科目」と、アウトプットを目的とする「基礎演習科目」をセットで開講します。そのうえで、法学・政治学の様々な専門科目、各種実務家による現場主義科目を開講することにより、将来の進路選択を支援します。

具体的な開講科目

基幹講義科目+基礎演習科目

各種法律系・政治系科目

現場主義科目

### 社会的課題の解決に向けた実践的な 思考力の涵養による学びの完成

最後のステップにおいては、これまでのステップで学んだことを踏まえて、社会で実際に生起している諸課題を認識し、それに対してどのような解決策が考えられるか実践的に考え、知識・理論と実践との接合を図ります。

STEP



### 学修完成(3年次～)

具体的な開講科目

現代社会と法

法政演習Ⅰ・Ⅱ

卒業研究Ⅰ・Ⅱ

ジュニア・リサーチ・ペーパー(JRP)

# 学びの特徴

## 少人数教育

新潟大学法学部では、各学年に応じて、一人の教員がそれぞれ10名程度の学生をきめ細やかに指導する少人数教育を実施しています。1年次の「スタディ・スキルズ」、2年次の「基礎演習」のほか、3年次に「法政演習Ⅰ・Ⅱ」、4年次に「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」が用意されています。教員と学生との距離が近づくため、学びの幅が広がるのみならず、人間形成の一環としても重要な位置づけを有しています。

## 現場主義

新潟大学法学部は、各界の第一線で活躍されている方々をお招きし、講義室に「現場」を取り入れるユニークな授業を行っており、インターンシップと併せて「現場主義」を実現しています。特定の分野にスポットを当てて現場を学ぶ「司法書士と法」「新潟市の行政」のほか、多様な分野の講師による「賢人会議」があり、いずれも人気の講義です。講師の先生の中には、新潟大学法学部の卒業生もあり、自分の将来を具体的に考えるきっかけとなっています。



### 賢人会議

様々な分野で活躍する「賢人」を招き、大学の教室にしながら、実社会について学びます。仕事内容や経験談を賢人から直接聞くことで、進路についての関心や学修へのインセンティブを高めます。

財務省大臣官房秘書課財務官室課長補佐  
長瀬俊隆様



2023年度「賢人会議」講師（出講順、敬称略、肩書は出講当時のもの）

**坂本 卓司**（内閣府地方創生推進事務局参事官補佐・内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）  
**蓮井 俊治**（新潟地方裁判所長）  
**石井 一利**（NHK報道局国際部 チーフ・リード）  
**長瀬 俊隆**（財務省大臣官房秘書課財務官室課長補佐）  
**成田 浩**（福田リニューアル株式会社代表取締役社長）  
**笛木 隆弘**（新潟県農地部農地計画課土地改良団体系主査）  
**吉田 倫子**（弁護士法人PRESIDENT 代表弁護士）

**佐久間寛道**（財務省主計局主計官（司法・警察、経済産業、環境係担当））  
**藤田 文志**（楽天コミュニケーションズ株式会社経営企画部）  
**斎藤 敏之**（新潟交通株式会社グループシニアディレクター）  
**新潟県警察本部警務部警務課 犯罪被害者支援室**  
**池田 龍法**（新潟市中央区役所総務課主査）・**横野 真保**（新潟市財務部資産税課副主査）  
**小林 謙介**（新潟地方裁判所刑事部総括判事）  
**中西 有紀**（全日本空輸株式会社オペレーションマネジメントセンター オペレーションマネジメント部アシスタントマネジャー）

### インターンシップ

将来の職業選択の参考とするため、様々な業界の現場において1~4週間にわたって就業体験を行う、「現場主義」を体現した科目です。

1997年に国立大学の法学部では初めて正規科目として「インターンシップ・プログラム」を導入して以来、実習先は、例年、金融・メーカー・サービス業・官公庁と多岐にわたります。「働くこと」と「学ぶこと」の意義を再確認し、就職活動へのモチベーションを上げる絶好の機会となっています。

#### 主な2023年度インターンシップ受け入れ先

新潟労働局、新潟県、福島県、秋田県、青森県、新潟市、米沢市、会津若松市、野村證券株式会社新潟支店、第四北越銀行、青山法律事務所

### 地域政策協働センター (Centre of Glocal Policy Network; GPNet) について

地域政策協働センターは、学生を行政や地域の現場に送り込むことにより、普段の講義では学べない現場でしかできない体験をしてもらうことを目的に設置されています。2023年度は、新潟県が実施するビレッジプラン実践事業に採択された村上市長津地区において、集落活性化に参加している他、新潟県選挙管理委員会の主宰するNiigata選挙カレッジや燕市の主宰するつばめ若者会議（燕ジョイ活動部）に学生を派遣するなど、本学部が目指す現場主義教育の一翼を担っています。

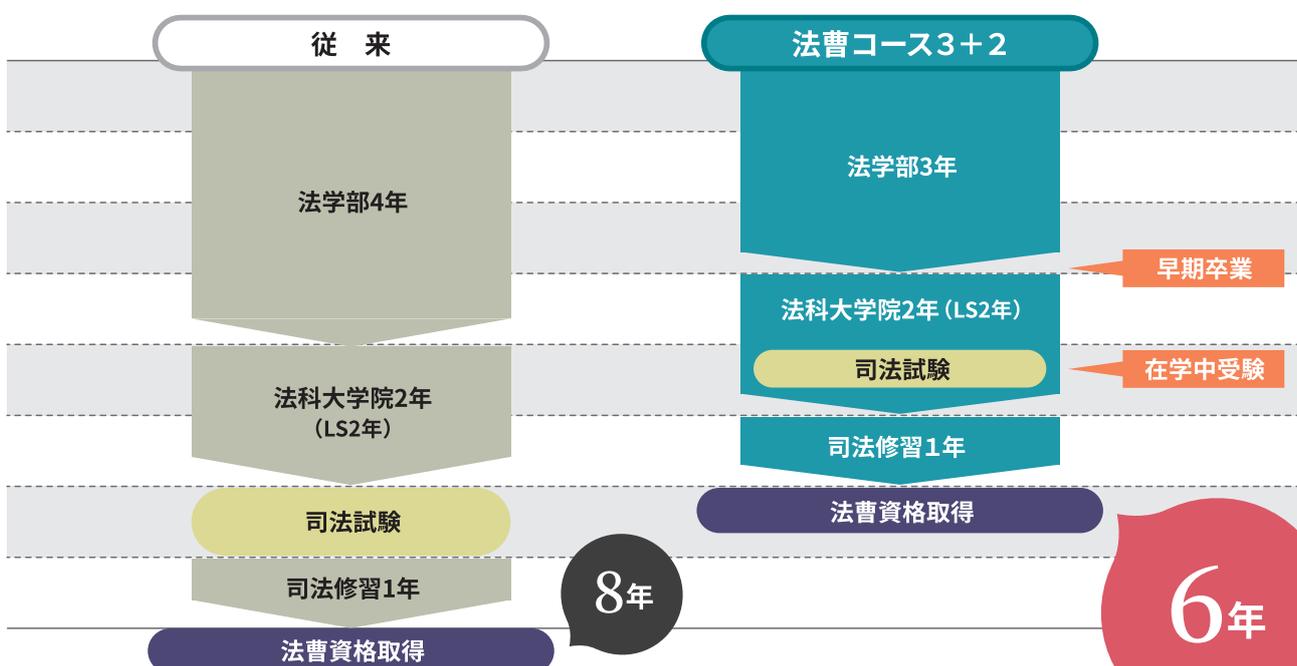


# ～新潟大学法学部 「法曹養成プログラム(法曹コース)」とは?～

新潟大学法学部では、1年次から法学の専門的な学修を開始し、最短3年間で早期卒業し、連携先の法科大学院に進学することが可能となる「法曹コース」を設置しています(通称「3+2」)。これにより、学修期間の短縮と経済的な負担の軽減が期待されます。「法曹コース」は、2019(令和元)年6月に成立した法律(法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律等の一部を改正する法律)に基づいて本学部に設置されました。

法曹コースなら、

入学後**最短5年**で司法試験受験  
**6年**で法曹資格取得が可能に!



※上記の他に、司法試験受験資格を得られる制度として法学部等で法律を学んだことがない方が法科大学院に3年通う制度や、司法試験予備試験という制度もあり、本学在学中に予備試験に合格し、早期卒業の上、同年中に司法試験に最終合格された方もいます(法曹資格取得まで約5年)。



栗原 裕汰 KURIBARA, Yuta | 2024年3月早期卒業 東北大学法科大学院(2024年進学)



私は、現在、法学部の法曹養成プログラム3年次の学生で、早期卒業制度を利用して2024年4月から東北大学法科大学院に進学することとなりました。

私は高校生の時から法曹を志望しており、本学には早期卒業制度があり、学部3年間、法科大学院2年間という短時間で司法試験を受験できる制度があることを知り、入学しました。そして、その制度を利用するために法曹養成プログラムに登録し、学部1年次から多くの法律科目を積極的に履修しました。1年次の段階から2年次以上の先輩方と一緒に法律科目を勉強することは不安でしたが、予習や復習を欠かさず行い、基本の知識から丁寧に押さえることによって先輩方に遅れを取ることなく着実に学習を進めることができました。また、先生方も丁寧な講義をしてくださり、親身になって相談を受けてくれるため大きな不安は必要ありません。

本学には、司法研究会という法曹を目指す友人や先輩が多く所属する部活動があり、私はそこで法律に関する能力を伸ばすことが出来ました。

このように、新潟大学法学部は、確かな法律知識を身につけて司法試験に向けて勉強をするための素晴らしい環境が整っています。ぜひ、新潟大学法学部で法律を学んでみてはいかがでしょうか。

### 刑法や刑事法学は何のためにあるのか

丹羽 正夫 *NIWA, Masao* 教授

刑法や刑事法学は何のためにあるのか。そう問われると、「犯罪者を処罰するためにある」と答える人がおそらく多いと思います。でも、本当にそうでしょうか。

たしかにそういう面もあるでしょう。しかし、意外に思えるかもしれませんが、刑法や刑事法学は、「犯罪者を処罰するため」ではなく、むしろ、「処罰の行き過ぎを防ぎ、人権を守る」ためのものとして発展してきたのです。裏を返せば、刑法の歴史は人権侵害の歴史でもあったといえます。この点は、中世ヨーロッパの魔女狩り裁判や、反政府的な言論を弾圧し処罰する法律が世界のあちこちで存在した（そして今でも存在する）という歴史的事実を見れば明らかでしょう。犯罪予防・治安の維持と人権の擁護をどう調和させるか。刑事法学は何よりもまず、こうした課題と取り組む「人権を守るための学問」なのだといえます。

同時に、刑事法学は最終的に「世の中を良くしていく」とつながる学問でもあります。19世紀ドイツの刑法学者・リストは、「最良の刑事政策は最良の社会政策である」と述べ、犯罪をなくすには福祉を始めとする社会政策の力が欠かせないと主張しました。こうした考えは今日ますます重要になっており、犯罪対策を考えるうえで

は自分たちが暮らす社会の現状に目を向け、「犯罪を生まない社会を作る」という視点が欠かせません。皆さんも、犯罪が多い街に住むよりも安全な街に住みたいでしょうし、罪を犯した人が社会復帰しやすく、被害者が十分な支援を受けられる社会のほうが、他人に優しい社会なので暮らしやすいですね。実は、そうした社会を目指すことが、結局は犯罪を減らすことにつながるのです。そのような視点から社会と向き合い「世の中を良くする」ことができるという意味で、刑事法学は実践的で魅力的な面も持ち合わせていることをぜひ知っておいてください。

ここまで読んで頂き、皆さんには「刑事法学って面白そう」と思ってもらえたでしょうか。法学部のゼミでは、他者との議論を通じて自分を磨き、自分の考え方を鍛えることができます。刑事法学は「犯罪者」や「被害者」などの「人間」を対象とする学問でもあるので、人間に興味がある人にはとくに向いている学問だといえるかもしれません。ゼミでの議論を通じて自分と違う考え方に触れることで、あなたのものの見方や世界観もきっと広がることでしょう。新潟大学法学部で、刑事法学と一緒に学んでみませんか。

丹羽ゼミ

### 2023年度4年生ゼミ員一同

皆さんは、「刑法」や「刑事政策」と聞いて、どんなイメージを持っていますか。

「刑法」は犯罪と刑罰を定めた法律だろうと想像がつきやすいかもしれませんが、「刑事政策って何だろう?」と疑問に思う人もいるかもしれません。刑事政策とは、簡単にいえば、犯罪を減らすための対策や刑事司法制度のあり方を考える学問です。

私たち丹羽ゼミでは、刑法と刑事政策を中心として、個別テーマのプレゼンや諸問題に関する議論を行っています。これらの活動を通じて、自分の主張を相手に分かりやすく伝える力や議論する力などを身に付けることができます。加えて、3年次から、論文の書き方について丁寧な指導を受けられるため、時間をかけて自分の納得する卒論を書くことができます。それだけでなく、メールの書き方や礼儀作法など、社会に出てからも役に立つ知識を学ぶこともできます。

と、真面目な話はここまでにして(笑)、丹羽ゼミは「よく学び、よく遊ぶ」をモットーに、ゼミ生同士での交流や楽しい行事が盛りだくさんな



ゼミです。例えば、節目毎に行われるお疲れ様会というゲームなどをして楽しむ会や、クリスマスのプレゼント交換などがあります。そこでは、勉強のことは一旦置いておいて(笑)、皆で楽しむことができます。何より、ゼミ生同士で話す機会が多いため、お互いの趣味や好きな食べ物の話まですることもあります。また、3・4年合同でゼミを行うため、学年関係なく仲が良いのも特徴です。

大学のゼミは、議論などを通して自分の知識を蓄え、考えを深める場所でもあります。たくさんの個性豊かな人と出会える場所でもあります。ぜひ、楽しみながら、刑法や刑事政策について学んでみませんか。

# デジタル社会に向けて 個人の権利利益の保護と個人データ利用の両立を考える

鈴木 正朝 *SUZUKI, Masatomo* 教授

「情報法」は、情報に関する法を探究する科目です。情報という視点で、プライバシーの権利や表現の自由、思想良心の自由といった「憲法」に関する問題や、電子商取引のような「民法」に関する問題、不正アクセス禁止法のような「刑法」に関する問題など、基本科目を横断するテーマを扱います。従って、大学では基本科目を履修した後の3、4年次の選択科目の1つとして置かれます。

皆さんは、日常的にAndroidかiPhoneのスマホや、WindowsかmacOSのパソコンを使い、ネットに接続して、SNSやメール、メッセージ、電話を利用し、動画や音楽を視聴する等多くのコンテンツを利用しています。そのアプリやサービス、プラットフォームの多くは外資系企業の開発運用によるものです。国も、入国管理システムや司法のシステム等重要インフラの一部の構築運用も北米企業に依存している状況です。

利用者データのグローバルな流通は止めようがなく、海賊版サイトのような違法行為も越境的に行われる時代です。もはや一国の法律と行政機関等だけで、個人データの濫用から利用者を保護することの限界もみえてきました。マネー同様に日米欧等で協調し、ルールの調和を図り、法執行の協力体制を構築していかなければなりません。

一方、日本人の医療情報やゲノムデータまで、外国企業に管理を委ねることには抵抗があるでしょうし、外国政府の監視下にあることは安全保障上も問題があります。そこは国内で管理しながら世界最先端の医療AIや

創薬の研究開発に取り組まねばなりません。品質の良い多様な個人データ（仮名加工医療情報）を、大量、かつ安全に二次利用するための法制度を整備するための法案の制定が課題になっています。

また、個別最適化教育のための教育データの活用や、子の虐待防止のための親子の個人データの活用なども始まり、いわゆるプロファイリング問題への対応も急務です。こうした問題解決のためには、法解釈だけではなく、立法政策的提言や法理論を提供することも必要になります。

私の講義では、主に個人情報保護法とプライバシーの権利を中心に、公文書管理法や情報公開法等の文書管理法制や営業秘密や公務員等の守秘義務等の守秘法制と比較しながら、データ保護法制の特徴、あるべき個人情報保護法制、医療データ保護法制についてお話しします。



鈴木ゼミ

長越 香里 *NAGAKOSHI, Kaori* 法学部法学科4年

今日、個人情報・プライバシーの保護やマイナンバー制度に関する話題、SNS上の誹謗中傷問題などが頻繁に話題になります。身近なところでは、ネットでの情報収集や友人等とのやりとり、Suicaなどの電子決済利用など、今やスマホなくしては生活ができないくらいになっています。

こうしたデジタル社会の進展は、私たちの生活を便利にする一方で、新たなトラブルを生むことにもつながります。それゆえ、社会生活においても、いかに情報を取り扱うべきなのか、どうトラブルに対応するのかは重要な知識となります。また、これらのトラブルをいかに防ぐかという点も、私たちの日常生活の安全を守る上で重要な観点となります。

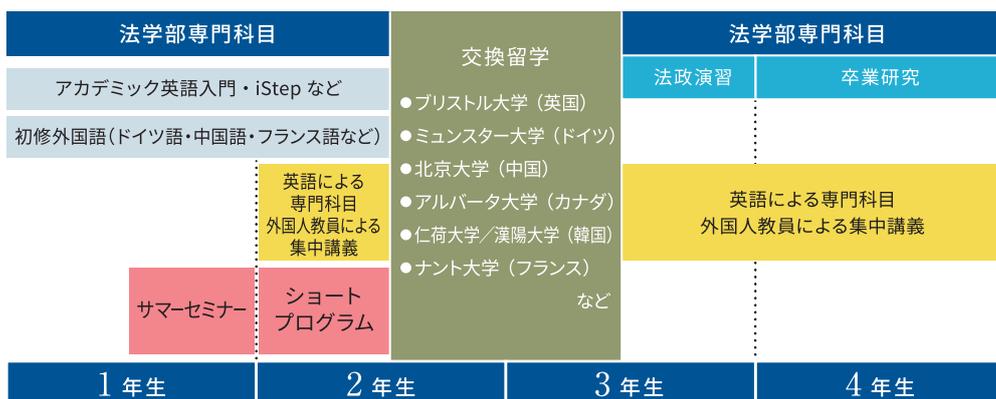
鈴木ゼミでは、3年次にプライバシー権や個人情報保護法の理解

など基礎的な勉強をします。4年次では、ジュニア・リサーチ・ペーパー（JRP）、いわゆる卒論を執筆するために、各自テーマを選んで、専門書や論文、判例を収集して、読み込みながらゼミで中間報告をして議論し、先生に相談・修正を繰り返しながら仕上げていきます。例えば、今年のJRP（卒論）のテーマとしては、医療データの二次利用やChatGPTをはじめとした各種AIについての研究などがあります。情報法の分野は幅広いため、特に興味のあるテーマを自由に選定し研究することができます。

情報法は比較的新しい分野であるため、常に変化・発展しています。だからこそ、今後こういう法制度になるべきだという意見を持ちつつ、主体的に学ぶことができます。ぜひ馴染みのない分野にも挑戦し、学んでみませんか。

# 外国語で法学・政治学を学ぶ

新潟大学法学部では、学生が卒業後に国際社会と地域社会にまたがって活躍できるように、外国語を学ぶプログラムのみならず、外国語で法学・政治学を学ぶことのできる段階的なプログラム群を提供しています。自分自身の能力や経験に応じて、最適なプログラムを選ぶことができます。



※履修モデル

## TOPIC 1

### 海外セミナー（ショートプログラム）



北京師範大学

夏期・春期の長期休暇等を利用して、1週間から1ヶ月程度、海外の大学に滞在して語学・専門科目を学習するプログラムを提供しています。

#### 【2023年度プログラム例】

夏期：韓国サマーセミナー（漢陽大学）、オタゴ大学英語研修、西シドニー大学国際交流プログラム（北京師範大学サマーセミナーは2024年度に実施予定）

春期：オタゴ大学英語研修、シンガポール・スプリングセミナー、オーストラリア多文化共生社会体験プログラム、フィリピンALLC英語研修

## TOPIC 2

### 英語で法学・政治学を学ぶ

新潟にいながら、留学生とともに、英語で法学・政治学を学ぶことのできる科目を提供しています。日本語による類似の専門科目と併せて履修することで、効果的な学習が期待できます。海外への本格的な留学に向けた事前対策として、また留学後のフォローアップとして活用している学生もいます。

[開講科目例] Introduction to Japanese Law II, Basic/East Asian Studies, Basic/Japanese Family Law and Society, Basic/Chinese Politics, Basic/Introduction to Japanese Politics and Diplomacy, Basic

また、とくに英語力を強化したい学生は、全学が提供する短期集中科目iStep (Intensive-Short Term English Program) を受講することもできます（受講できる人数には制限があります）。



## TOPIC 3

### 外国人教員から法学・政治学を学ぶ

協定大学であるドイツ・ミュンスター大学、中国・北京大学などの教員を招聘し、講義を提供しています。新潟にいながら、各国の「法律と政治の現在」について、学ぶことができます。

[開講科目例] Introduction to Western legal System、中国外交入門、中国外交基礎、中国政治入門、現代中国政治入門など

## スピーチコンテスト

法学部では、法学会主催のスピーチコンテストが毎年開催されます。英語部門をはじめ、中国語、ドイツ語、フランス語の部門があり、留学経験者はもちろん、海外経験がない学生も多数参加します。スピーチの内容は留学体験や趣味、社会問題など様々で、学生が外国語で自由に自己表現できる恒例のイベントになっています。



2022年度スピーチコンテストの様相

# 学部間交流協定校への留学

新潟大学と海外の協定校との間で結ばれている交流協定にもとづいて留学する制度があります。そのうち、「学生交換協定にもとづく留学」の場合は、新潟大学法学部に在学したまま、半年または1年間海外の協定締結大学で学ぶことになります。留学先の大学との単位互換がなされますので、留学期間を含めて4年で卒業することも可能です。

交換留学を希望する学生は、学内選考および協定校での選考を経て、半年または1年間協定校へ派遣されます(留学期間は本学の修業年限に算入され、「授業料不徴収」協定が結ばれている場合、本学に授業料を納めれば、協定校へ授業料を支払う必要がありません)。



## アルバータ大学 University of Alberta (CANADA)

1908年に創立され、首相も数多く輩出している名門の州立総合大学。カナダ中西部に位置し、雄大な自然の中で快適な学生生活を実現できる。学生は3万7千人、留学生は4千人を超える、カナダで2番目に大きな大学である。



## ブリストル大学 University of Bristol (U.K.)

『宝島』の舞台となった南西イングランドの港町ブリストルにある、1872年創立の歴史ある名門大学。教育や研究面でトップクラス、「住みたい街」としてもトップクラスゆえに学生に人気の高い大学。本学部との協定交流はもっとも古く1989年から。



## ミュンスター大学 University of Münster (GERMANY)

ミュンスター大学は、北ドイツの西部(オランダとの国境の近く)の町、ミュンスター(Münster)にある、ノルトライン・ヴェストファーレン州の州立大学である。現在の法学部学生総数は約5千人で、本学部とは1998年に学生交換協定を締結した。



## ナント大学 University of Nantes (FRANCE)

フランスで有数の規模を誇る総合大学であり留学生も多い。新潟市の姉妹都市であり、フランス人から「住みたい街」に選ばれる文化都市ナントに位置する。2018年に法学部間交流協定が結ばれ、活発な交流が始まっている。



## 北京大学 Peking University (CHINA)

古くは燕京の美名で呼ばれた古都・北京に位置する。清末の1898年に創立された中国で最も歴史のある大学でもある。言うまでもなく中国一の名門校であり、その名前を知らない人はいないだろう。法学院および国際関係学院との間で長い交流の歴史をもつ。



## 外交学院 China Foreign Affairs University (CHINA)

中国外務省が所轄する唯一の大学で、1955年に設立され、建学当初は外交官の養成機関であった。今日でも国際交流に携わる人材を多方面にわたり輩出している。入学難易度は全国トップクラスに位置し、重点大学の上位校と肩を並べる。



## 仁荷大学 Inha University (KOREA)

仁川特別市に位置する名門の総合大学であり1954年創立。仁川には国際空港が位置するほか、古くからの港湾都市であり、海に近い風光明媚なキャンパスを有している。社会科学学院政治外交学科と緊密な交流を続けてきた。

# 在学生・先輩の声



青柳 匠馬 *AOYAGI, Shoma* / 新潟大学法律相談部第40代部長 法学部2年生

皆さんこんにちは。新潟大学法律相談部第40代部長を務める、青柳匠馬と申します。いきなりですが、皆さんは「法律相談部」という部活を聞いたことはありますか？おそらく、なかなか聞き馴染みの無い部活動だと思います。そこで今回は、皆さんに少しでも法律相談部のことを知ってもらえるように、法律相談部の主な活動についてご説明させていただきます。

法律相談部では、年に2回（7月・11月）、私達学生が主体で開催する“無料法律相談会”を実施しています。相談会では現役の弁護士立ち合いのもと、市民の方々からいただく、ご近所トラブルといった相隣問題や相続問題といった親族トラブルなどの相談に、私たち学生がお答えしています。それに伴って、普段の活動では、相談会で民事分野において様々な問題に対応できるように、“勉強会”を行っています。

また、普段の大学生活で、授業や勉強に励むために「法学部の先輩や同級生の

繋がりを増やしたい」という声をよく聞きます。法律相談部は、法学部生限定で入部ができる部活ですので、同じ学部の同級生や先輩と繋がることができ、日頃の大学生活や学習面・進路面での相談を気軽にすることができます！

ちなみに私自身、相談者の方から、私たちの回答に対して安心してくださったり、感謝の言葉を仰っていただけたとき、この活動をして良かったと感じます。また、法律相談部で仲の良い友人をたくさん作ることができ、毎日の大学生活が楽しいです！

これを読んで「法律相談なんて自分には難しそう・・・」と感じた方もいるかもしれませんが、実際はそんなことはありません。はじめはみんな法律知識ほぼゼロからスタートして、活動を通して少しずつ、確実に知識が身につけていきます！最初は「なんだか面白そう・・・!」ぐらいの気持ちで入部してみてください！

少しでも「法律相談部」に興味を抱いてくださったみなさんの入部、お待ちしております！

松澤 咲 *MATSUZAWA, Saki* / 新潟大学司法研究会第4代会長 法学部2年生

こんにちは。新潟大学司法研究会第4代会長の松澤咲と申します。司法研究会の紹介を交えながら、本学法学部での学修についてお話させて頂きたいと思えます。

司法研究会は、法学部公認の学生団体で、1・2年生が主体の部活です。弁護士などの法曹を目指している学生が多く集まっています。活動としては、主に2年生がレジュメ（授業用プリント）を自分たちで作成し、1年生に対して法律の基礎知識を講義するというインプット講義と、グループワークを通じて問題を解く練習をするというアウトプット講義を隔週で行っています。

また、司法研究会は、勉強に対する熱意を持った同学年の友達や先輩方と繋がることができます。司法試験に合格された先輩や、早期卒業により法科大学院に進学された先輩方もいらっしゃいます。法律の勉強は大変ではありますが、

私自身、司法研究会の友達と勉強でき、また、早期卒業を達成された先輩方から法律の勉強のコツやロースクールライブ等を教えていただけるので、勉強へのモチベーションを上げることができています。司法研究会は法曹を目指している方にはもちろん、そうでなくとも法律の勉強をしたい方にお勧めの団体です。

そして、法学部の講義を受けて分からないことがあれば、講義の後やメールで先生方に質問をすると、法学部の先生方は優しく対応して下さりますので、手厚いサポートを受けることができます。

本学の法学部では、普段の講義においても、部活動においても、勉強するための環境が整っており、充実した大学生活を送ることができます。本学法学部への入学、そして司法研究会への入会をお待ちしております。



高阪 英恵 *KOSAKA, Hanae* / 新潟大学地域政策協働センター/学生代表 法学部3年生

こんにちは、新潟大学地域政策協働センター（GPNet）学生代表の高阪英恵と申します。私たちGPNetは、行政機関やNPO法人、さらには地域住民の方と連携し、地域復興のための活動を行う、法学部公認の学生団体です。

今年度の活動は新潟県村上市の長津地区が主となりました。長津地区の地域運動会に参加させて頂いたり、旧長津小学校で地域の小中学生と勉強会やレクをして交流するイベント「さまぜみ」を企画したりと、長津地区で様々な年代の方々で交流しながら地域活動を行いました。

今年度は、コロナ後ようやく本格的に活動できた年だったと感じています。これまで交流があった地域に足を運べなくなっていたり、例年開催していたイベントが開催できなかったりと困難が続いていた中で、今年度は様々な活動の復活の年となり、また、新たに物事をスタートさせる年にもなりました。

左で紹介しました「さまぜみ」がその最たる例であり、今年、実に4年ぶりに開催することができました。数回の代替わりを経ての長津地区訪問でしたが、地域の方々があたたかく迎えて下さり、学生一同大変嬉しく思いました。来年度はきっと、長津地区でも、その他の地域でも、より多くの活動ができ、活動の幅も広がっていくと思います。

在籍している学生メンバーの状況や、やりたいことも将来図も様々です。でも、声をあげたときに協力的なメンバーばかりです。やりたいことがある方、イベントの企画をしてみたい方、地域活動に興味がある方、やりたいことも何をやっていいかわからない方も、是非一度GPNetに加入して、自分の可能性を広げたり探したりしてみてください。

一場 蘭 *ICHIHA, Ran* / 中国外交学院に留学 法学部3年生

私は、将来外国との関わりのある場所で働きたいと考えていました。そのため新潟大学に入学した当初から、大学の交換留学制度を利用し、中国へ語学留学をしたいと考えていました。

初めはコロナの影響もあり、渡航しての学習は厳しい環境でしたが、渡航ができるようになるまで、留学先の大学の授業を日本国内でオンラインで受講することになりました。

授業は英語でしたが、中国人の先生が一对一で基礎から丁寧に教えてくださるおかげで、半年で基本的なコミュニケーションを中国語で行えるようになりました。

留学期間が残り3ヶ月になったところで渡航の許可が出たため、中国の学校の寮に住みながら学習することになりました。

学校は北京中心部にあり、公共交通機関も栄えていたため、移動も生活もしやすい環境でした。治安も比較的良好な地域だったため、安心して暮らすことができました。

外国人留学生専用の寮を使っていたため、そこで出会った他の学生とは英語で会話をしていました。彼らは慣れない中国での生活を支えてくれたり、遊びに

誘ってくれたり、母国の文化を共有してくれ、とても良い友達になりました。また、学習意欲もとても高く他の国への留学経験があり何ヶ国語も話そうことができたり、ボランティアや弁論大会などに積極的に参加している生徒もいました。自分の現状に満足せず、常に新しい挑戦を続ける様子を見て、私も向上心を持って生活したいと強く感じました。

学校が主催している課外活動も定期的であり、万里の長城への遠征や、北京オペラ、茶会などなかなか行くことのできない場所で、貴重な体験をすることができました。

コロナ禍という特殊な環境で1人留学をするのは少し不安もありましたが、留学を通して得た影響や経験は今後の生活に自信を持たせてくれる材料になったと思います。この留学のおかげで、将来の夢である海外と関わる仕事に就くという夢に一歩近づくことができたのではないかと感じます。





皆さん、はじめまして。私は、大学3年生のときに、令和3年度司法試験予備試験に合格した後、法曹コースの三年次早期卒業制度により、新潟大学法学部を卒業しました。卒業後は、令和4年度司法試験を受験・合格し、司法修習(第76期)を経て、現在は弁護士として活動しています。

私が、予備試験・司法試験に合格できた大きな要因は、新潟大学の環境にあると思います。新潟大学では、法曹を目指す学生は、他大学に比べて多いとまでは言えないかもしれませんが、その分、同じ夢を持つ同期や先輩・後輩や、学習を応援して下さる先生方と近い距離で接することができます。実際に、私は、同期や先輩・後輩と自主ゼミを組んだり、司法研究会という組織を創設したりして、切磋琢磨しながら学習に取り組んでいたほか、授業の終わりやコア・タイムを利用して、先生に質問をしたり、答案を添削していただいたりしました。

こういった周囲との濃厚な関わりは、他大学では経験できない貴重なものだと思います。

もちろん、法曹を志していない学生にとっても、新潟大学の環境は素晴らしいものだと思います。熱意ある先生方、優秀な学生、充実した設備、あげればキリがありませんが、各自の将来の夢を叶えるための素晴らしい環境が整っていると思います。新潟大学法学部では、意欲のある学生に対して、それに応えることができるように最大限の努力をさせていただきます。私自身も、法曹になるための勉強以外にも様々なことを学び、経験させていただきました。

皆さんも、新潟大学法学部で、充実したキャンパスライフを送ってほしいと思います。



山本 純子 YAMAMOTO, Junko 2023年3月卒 / 新潟大学大学院現代社会文化研究科博士前期課程

法学部の講義ではたくさん判例を扱います。私は刑事訴訟法のゼミに所属していたので、ときには残酷な事例も扱いました。加害者が凶悪な人だったり、強い殺意をもってたり…。しかし、事件はそういったものばかりではありません。例えば、誹謗中傷について考えてみましょう。ふつうのSNSユーザーが、軽い気持ちで他人を傷つけ、問題が大きくなってから「こんなことになるとは思わなかった」と話す。こうした場面を報道等で見たことがある人もいるでしょう。ごくふつうの人が、無自覚のうちに「悪」へと向かってしまう。これはなぜか。そしてこの場合の「悪」とはいったい何か。私は法学部在学中、このような根源的な「問い」を抱きました。そこで時々(いや、しばしば)法学部を飛び出し、他学部の哲学の講義に出るなどして(もちろん法学部の単位もきちんと取りつつ)過ごしていたのですが、卒業を機に専門を法学から哲学へ移し、大学院で本格的に研究することにしました。

私は現在、新潟大学大学院現代社会文化研究科の博士前期課程に在籍して

います。具体的な専門は近代以降の西洋哲学であり、とりわけハンナ・アーレントという人物の思想を中心に研究しています。彼女は20世紀初頭のドイツにユダヤ人として生まれ、ナチスによる迫害を受けながら、「ごくふつうの人々が、なぜ命や人間性をも破壊するような悪へと加担してしまうのか」を問い続けた人物です。私自身は、彼女の思想を手掛かりにしつつ、他の哲学者の思想や、社会心理学等の隣接分野とも横断しながら考察しています。

私が哲学に触れ、現在の研究に繋がる素養を得ることができたのは、所属にとらわれず様々なものを手に取ることができる環境があったからです。もちろん、資格試験や自分の目標に向かって最短ルートを進む、という過ごし方もあるでしょう。それはそれでよいことなのですが、大学は私がそうしたように、「寄り道」や「一度立ち止まって考える」こともできる場所だと思います。新潟大学は多数の分野が併置されている総合大学です。みなさんは新潟大学で何を手に取るでしょうか。ひとりの先輩として、楽しみにしています。

荒川 瑞絵 ARAKAWA, Mizue 2023年3月卒 / 前橋地方検察庁 検察事務官



私は、前橋地方検察庁で検察事務官として働いています。検察庁は、適正な捜査手続きを通じて、刑事事件の真相を解明し、罪に見合った刑罰が科されるように公判活動を進める役割を担っています。そして、前橋地検の検察事務官の業務は、検察官と共に事件の捜査等に従事する捜査・公判、検務部門と、人事や会計など検察庁の運営に関する業務を行う事務局に分かれています。私が所属する企画調査課はこの事務局に分類され、主に研修の企画や、図書の管理、司法修習生に関する事務などを行っています。

私は普段、主に図書に関する事務を担当し、職員への図書の貸出やあっせん、庁内の図書の管理等を行っています。これらの業務の中では、あまり触れたことがない法律に関する資料を集めることがあるのですが、効率よく集めるためにはその法律や条文の内容についてしっかりと理解していることが重要です。そうした場面で、新潟大学法学部で学んだ知識や法的解釈力などを生かすことができていると感じます。

新潟大学法学部では各学年に応じたカリキュラムが生まれ、段階を踏みながら学ぶことができます。

1年次では条文や判例の基本的な読み方等を学び、2年次の基礎演習や3年次の法政演習で法学に関する知識をより深めることができました。そして4年次の卒業研究ではJRP(卒論)を執筆し、この4年間を通して法的解釈力やリーガルマインドを着実に培うことができたと感じます。さらに、法学に限らず多種多様な講義が用意されており、様々な分野の知見や考え方に触れることができます。私自身、心理学や法医学なども学び、その学びを生かして、より法学の知識を深めることができ、検察庁での業務にも役立っています。

新潟大学法学部は、自分の興味・関心を追求しながら深い学びを得ることができる環境が整っています。ぜひ、積極的に学び、多くのことを経験してください。皆さんが充実した大学生活を送れますよう、願っております。



藤田 樹 FUJITA, Tatsuki 2023年3月卒 / 独立行政法人国民生活センター

私は現在、独立行政法人国民生活センターで消費者行政に携わる仕事をしています。私の部署では、主に増加している消費者トラブルについての消費者への注意喚起や、トラブルの自己解決のための情報提供を行っています。

契約トラブルの解決には、民法はもちろん、特定商取引法や割賦販売法など、トラブルの内容によって様々な法律を使い分ける必要があります。そのためには、それぞれの法律を勉強するだけでなく、法律同士の関係や、そもそも法の基礎的な考え方も知らなくてはなりません。新潟大学法学部には、多様な授業があり、大学での学びが今の仕事に大いに役立っていると日々実感しています。

私が国民生活センターへの就職を選んだのは、「消費者法」の講義で消費者

被害の歴史を学び、悲しい消費者被害を繰り返さないため、被害の拡大防止に寄与したいと考えたからです。法学部の授業を通じ、自分がやりたいことを見つけたのは、多様な授業を選択できたからこそだと思います。

私は学生時代、刑事訴訟法ゼミに所属していました。ゼミでは毎回1つの判例を検討し、裁判所の判断の妥当性について説得力のある意見を述べるのが求められました。こうした経験で身につけた論理的な考え方は、JRP(卒論)の執筆はもちろん、仕事をする上でも大変役立っています。

新潟大学法学部では、多様な授業と大学内外での活動を通じ、社会でも活かせる力が身につきます。大学での様々な経験を通じ、社会で通用する力をつけながら、自分の興味があるものを見つけられることを願っております。

# 先輩の声

# 法学部卒業生過去3年間の進路

(2020年度～2022年度  
企業・機関・組織名などは採用当時)

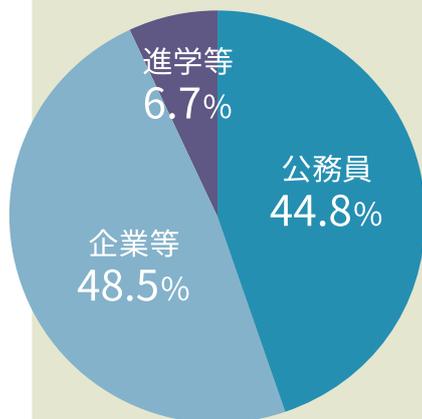
## 進学

卒業生の進学先は様々ですが、進学先を大別すると、高度専門職業人を養成する大学院と学部で学んだ内容をさらに研究する大学院に分けられます。高度専門職業人養成課程としては、法曹(裁判官、検察官、弁護士)養成に特化した法科大学院や、政策形成・実施・評価の専門家を養成する公共政策大学院などがあります。学部での学修を深化させ研究者や専門知識を持つ人材を養成する大学院としては、法学研究科やそれぞれの専攻分野に関連した大学院があります。

## 就職

多くの学生は、卒業後、官公庁あるいは民間企業や団体に就職します。「社会あるところに法あり」といわれるように、どの職場でも、法律に則った判断や行動が求められています。法学部の卒業生は、「法的素養を備えたジェネラリスト」として、中央政府や地方自治体、国際機関、民間企業など、様々な職場で活躍しており、とりわけ都道府県庁や国家公務員一般職に就職する先輩が多くいます。

### 就職先の例



- 【公務員】 厚生労働省、国土交通省、経済産業省、防衛省、原子力規制庁、裁判所事務官、検察事務官、国税専門官、労働基準監督官、新潟県、山形県、福島県、新潟市、特別区(東京23区)、ほか全国各地の地方公共団体、新潟県警察
- 【建設業】 本間組、不動テトラ
- 【製造業】 コロナ、日立造船、トヨタ自動車東日本、山崎製パン、日鉄ケミカル&マテリアル、古河電気工業、バンダイ
- 【情報通信業】 時事通信社、新潟日报社、新潟放送、新潟テレビ21、岩手日报社、東日本放送、インテック、LINE、日本アイビーエムデジタルサービス
- 【電気ガス水道】 東京電力ホールディングス、東北電力、北陸ガス
- 【運輸業】 ヤマト運輸、東日本旅客鉄道(JR東日本)、越後交通
- 【卸売・小売業】 アークランドサカモト、ウオロク、ヤマダホールディングス、クスリのアオキ
- 【金融・保険業】 第四北越フィナンシャルグループ、大光銀行、新潟県信用組合、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三井住友信託銀行、秋田銀行、東邦銀行、東京海上日動火災保険、日本生命保険、全国共済農業協同組合連合会
- 【不動産】 北海道空港、オープンハウス、ミサワホーム信越
- 【他】 法律事務所、税理士法人、国立大学法人、森林研究・整備機構、防災科学技術研究所、全国健康保険協会、日本マクドナルド、アクセンチュア

### 進学先の例

法科大学院(東北大学、慶應義塾大学、中央大学)、新潟大学大学院現代社会文化研究科、北海道大学大学院法学研究科、九州大学大学院法学府、一橋大学大学院法学研究科

※進路の詳細は、法学部サイトの卒業後の進路のページに掲載しています。



# 入試情報

新潟大学法学部の入学者選抜は、入学者を狭い層や地域(国)に限ることなく、できる限り開放することによって、多様な学生を受入れることを基本方針として実施します。入学機会を拡大するため、【一般選抜】【学校推薦型選抜】【編入学試験】【私費外国人留学生特別選抜】【帰国生徒特別選抜】を行っています。



入試情報



法学部からのメッセージ

入学方式の概要				国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計
一般選抜	前期日程	85人	大学入学共通テスト	100	100 (100)	(100)	100	50	100	—	550
			個別学力検査	—	—	—	—	—	300	150	450
	後期日程	35人	大学入学共通テスト	150	125 (125)	(125)	100	50	250	—	800
			個別学力検査	—	—	—	—	—	—	200	200
学校推薦型選抜		50人	出願書類と面接による総合判定								
編入学試験		5人	専門科目(法学)、外国語、面接、出願書類による総合判定								
私費外国人留学生特別選抜		若干人	小論文(日本語による)、面接(日本語による)、日本留学試験、出願書類による総合判定								
帰国生徒特別選抜		若干人	小論文(日本語による)、面接(日本語による)、出願書類による総合判定								

※ 大学入学共通テストの選択科目等については、募集要項をご確認ください。

## 学修を深めるために

### 全学分野横断創生(NICE)プログラム

社会には、一つの学問領域ではとらえきれない事象がたくさんあります。そこで、総合大学としての豊富な教育資源を有する新潟大学では、法学部の学問の専門分野(メジャー)だけでなく、学部を越えて複数の分野を横断して学ぶことのできる仕組み(全学分野横断創生(NICE)プログラム)を設けています。アドバイザーなどのサポートの下で、3種類のマイナー(副専攻)を、学生の皆さんの興味・関心や問題意識に沿った学修を進め、一定の単位数を取得すると、修了証が発行されます。

NICEの詳細については新潟大学のNICEのサイトをご参照ください。

<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/index.html>



### 資料室

法学部資料室は、法学・政治学に関する雑誌・図書を所蔵しています。法令集・判例集・辞書・白書等のほかに、授業・レポート・ゼミ発表などの資料収集のためのデータベースも備えています。その他にも授業や勉学に関するさまざまな窓口になっており、学生をサポートします。大いに資料室を活用してください。



### 社会連携活動

新潟大学法学部では、社会連携のための多様な取り組みを行っています。



新潟市主催憲法記念行事  
「憲法のつどい」

【新潟大学75周年事業】シンポジウム  
「再審法改正に向けて  
～大崎事件・湖東事件から考える～」



令和7年度新潟大学法学部入学者選抜(一般選抜)の実施教科・科目及び配点等について

学部・学科等名		学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題 実技検査 小論文	面接	配点 合計
法学部	法学科	前期	国	『国語』必須	外	英(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ及び 論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、独、仏から1	共通テスト	100	200		100	50	100	50			600
			数	『数Ⅰ』、『数Ⅰ、数A』から1 『数Ⅱ、数B、数C』必須	その他	小論文 必須	個別学力検査						300		小論文 150		450
		理(※1)	『物基/化基/生基/地基』, 『物』、『化』、『生』、『地学』から1			計	100	200		100	50	400	50	150		1050	
		外	『英』、『独』、『仏』から1			共通テスト	150	250		100	50	250	50			850	
後期	地歴 地歴・ 公民(※2)	①『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』, 『地総/歴総/公』、『公、倫』、『公、政・経』から1	その他	小論文 必須	個別学力検査								小論文 200		200		
	情	『情報Ⅰ』必須			計	150	250		100	50	250	50	200		1050		
			〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕														

※1・『物基/化基/生基/地基』については、4つの出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)のうち、2つを選択解答すること。

※2・『地総/歴総/公』を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公共」)のうち、2つを選択解答すること。

②の選択は、①で選択した科目以外から行うこと。

②で『地総/歴総/公』を選択する者は、①で選択解答した科目と同一名称を含む出題範囲を選択解答することはできない。

# 広いキャンパスで 楽しい大学生活を!



## 学生食堂・生協・コンビニ

キャンパス内には、豊富なメニューを手頃な価格で提供する学生食堂や、文房具や生活用品が揃う生協購買部の他、コンビニ(ローソン)など、便利な施設がたくさん!



第1食堂

## 附属図書館

中央図書館では、図書の貸出だけでなく、パソコンや各種教材を揃えた自主学習スペースも充実。日々の勉強や研究活動を強力にサポートします。



中央図書館



## 新潟大学 (五十嵐キャンパス) へのアクセス

**鉄道** JR新潟駅から越後線「内野/吉田/柏崎」方面  
JR新潟大学前駅下車 徒歩約15分

**バス** 「新潟駅前」から西小針線「新潟大学」方面  
「新大正門」「新大中門」下車 徒歩約3分

## 新潟までのアクセス

東 — 新幹線 約2時間 — 新  
京 — 自動車 4時間 — 潟



新潟大学法学部 学部案内 2025 発行日/2024年3月19日

発行者/新潟大学人文社会科学系法学部学務係 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
電話番号 025-262-6283 FAX番号 025-262-7457 E-MAIL gakumu2@jura.niigata-u.ac.jp

